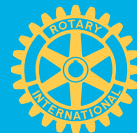




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を拡げ
奉仕の和を拡げよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

プログラム

- 本日
年男大いに語る part 2
辻本哲也 会員・串橋伸幸 会員
- 次週予定
「四方山話」
櫛井 俊介 会員

会員誕生日	結婚記念日
櫛井 俊介	田中 卓
鵜城 善輝	武田 佳彦
配偶者誕生日	
高田 美保子	
福士 泰雄	
田中 優子	

No. 2730

第29回 2月8日

出席報告

前例会

会員総数……………36名
出免会員……………5名
出免出席……………5名
基準会員出席……………19名
出席率……………66.67%

前々会

第26回 1月18日

欠席会員……………14名
内メイクアップ……………4名
修正出席率……………73.53%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告 ……………

- 1月26日第8回定例理事会を開催し、1月の会計報告、2月の例会プログラムと親睦活動委員会より提出された新春夜間例会の収支決算を承認しました。
- 大変残念なお知らせです。昨年12月末付けで退会届が提出された齋藤清蔵会員と工藤隆会員の退会を承認しました。

📁 幹事報告 ……………

- 本日は、昨年12月に開催した通園センター事業の資金捻出のための粗食例会となっております。
- 芦別RC砂川RCより2月例会案内を受領しました。

- ロータリー財団と米山記念奨学会から、確定申告用の寄付金の領収書が届いております。寄付された皆様にお渡します。
- 抜萃のつづりが届いております。皆様にお配りします。

👥 委員会報告 ……………

次年度理事会 **森(幹)エレクト**
1月30日に、第2回被選理事会と第1回被選クラブ協議会を開催しました。次年度活動計画書作成のため、各委員長さんに活動計画を依頼いたしました。次年度がいよいよ始動いたしました。皆様よろしくお願します。

3分間情報

会員研修委員会 高田 潔 会員

下半期の3ヶ月を担当させていただきます。本日、皆様のお手元に配付したガバナー月信のコピーですが、通常、理事役員の方々に配られておりますが、ホームページでも見る事が出来ます。本日はその中の1頁を紹介させていただきます。

ロータリーコーディネーターニュースですが、その中には規定審議会の事が書かれております。ガバナーが卓話された通りでありますし、留萌クラブも諮問委員会を立ち上げて高橋幹事の方で整理されておりますので、近いうちに皆様に発表があると思います。ここでは、書かれている事を読ませさせていただきます。

2016年の規定審議会ではロータリーの歴史上、革新的な内容が多く含まれています。各クラブの裁量が大きくなり、クラブ自体の責任の重さと選択肢が増え、地区およびクラブのリーダーの方々は困惑されていると思います。

規定審議会に出られた日本の代議員の方は、日本と世界の乖離があり、価値観・宗教・言語も違い、一つのルールでまとめるのは困難と感じておられました。日本と世界は流れが異なっており、日本が孤立しないように批判をするのではなく世界に働きかける行動が必要であると思います。選択された立法案は高齢化していくロータリーを止めるために、若い人の入会を促進するためにハードルを下げた感があります。日本のロータリーはきちんと素晴らしい運営をしています。他の国に示しをつける価値観を持ち続けてほしいと思います。いずれにしても、各クラブが主体です。各クラブの裁量権をもってルールを決めて下さいと、その様に書いてあります。留萌クラブも先ほど言いましたように、昨年諮問委員会を開きました。

次に2016~17年度目標が書かれております。RIテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。全体の目標はまさしく戦略計画の3つの優先事項そのものであります。特にロータリー財団100周年の年でもあり、財団目標も盛り込ま

れています。そして、戦略計画についてもその下に書かれております。地区にもクラブにも先着計画は必要です。地区とクラブの戦略計画を整合し、ダイナミックなクラブを築きましょう。戦略計画はクラブや地区が将来こうありたいというビジョンを描き、それに添った目標と行動計画を立てる事です。そのためには、単年度を超えた長期的視点が必要です。マイロータリーに登録して役立つ情報からスキルと知識を高めて下さいと書かれております。

余談ですが、その下に国際大会について書かれておりますので、少し読んでみます。国際大会に出席したことのあるロータリアンは早期退会はしないというジンクスがあるそうです。2016年のソウル大会には日本から約7000人の登録を得て、ロータリー史上最高となる43000人が150カ国から参加したとされています。以上3分間情報と致します。

ニコニコBOX

- 年男の皆さん12年に1度です。大いに語って下さい。 渡邊会長
- 1月30日に第2回被選理事会、第1回クラブ協議会を開催しました。 森(幹)エレクト
- 今日は年男大いに語るで卓話をさせていただきます。 堀会員

前 回	518,600円
今 回	3,000円
累 計	521,000円

プログラム

「年男大いに語る」

西谷 英樹 会員

皆さんこんにちは。年男大いに語るの例会プログラムではロータリー入会して19年目になりますが、初めてになります。12年前の36歳の時には当時会員は60名位おりまして、その時の出席委員長は現会長の渡邊会長でした。当時30代は私しかおりませんでしたので、見落とされた



みたいです。したがって初めての年男大いに語るですので、語らせていただきます。

今年の干支は酉年ということもあり、私自身大きく羽ばたきたいと思います。中でも仕事に力を入れ、プライベートの充実など全てにおいて飛躍を元旦に誓って参りました。年明けからおみくじは大吉、競馬も金杯で万馬券的中と幸先良いスタートを切る事が出来ました。中でも、1月17日から20日までのカンヌやベネチアなどの国際映画祭などで賞を受賞した是枝裕和監督の映画ロケが留萌であり、ロケ地の1つに私の経営するワールドワンが選ばれ、主演の福山雅治さんなどの俳優・女優が訪れ、映画の撮影を間近で見る事が出来ました。

この映画の主演は福山雅治さんで、役所広司さんや橋爪功さんや広瀬すずさんが、北海道ロケに出演していて、とても豪華キャストであることはまちがいありません。なぜ留萌がロケ地に選ばれたかと、あらすじを言いますと、役所広司が殺人犯人役で30年前に働いていた会社の社長を殺し、死体に火をつけた事件があり、福山雅治は東京のエリート弁護士で、その父が30年前の事件の弁護をして死刑確定といわれていた裁判を懲役30年にし、30年の刑期を終えて出所して又、殺人事件を犯すことになり、この事件が福山雅治に弁護の依頼が来て、役所広司のルーツを調べると、福山雅治は本当に役所広司が殺したのかと疑問が残ってきて、役所広司の妹が働いている北海道のさびれた港町のキャバクラ風のお店を訪ねて色々ルーツを探りにくるというストーリーになっています。

実はロケ地は、根室と紋別、留萌の3つが候

補でしたが、是枝監督が留萌と増毛に決めたそうです。お店以外の撮影は、増毛ゴルフ場、浜中、増毛の一軒屋での撮影もありました。この一軒屋の候補には当クラブの対馬邸や二ノ宮邸も上がっていましたが、残念ながら増毛になってしまいました。それと、この映画について報告いたしますと、私を含め、留萌の現地エキストラが10名この映画のロケに参加しています。カットされていなければ映っているはずですので、9月に映画公開されたら見てください。ちなみに私だけ主演の福山雅治と絡む台詞がありますので、劇場で見る機会があれば、声を出さずに笑って下さい。

この様に今年に入って貴重な体験が出来ましたので、飛躍して参りたいと思います。以上で西谷英樹の年男大いに語るでした。ご清聴ありがとうございました。

堀 光輝 会員

このテーマで皆さんの前で卓話する機会を与えていただき、ありがとうございます。

何のテーマで話すのがいいのかわからないまま、今日を迎えることになってしまいました。今日の卓話は12月の理事会でわかっていたのですが、大した準備もしていないので話題も面白いものでなく、聞き苦しいところもかなりあると思いますがご容赦願いたいと思います。

まずは、今の仕事上の立場になって気になっていることについてです。少し硬い内容かもしれませんがそれは「人材育成」についてです。自分もまだまだ若輩者で、職場の方向性を統一し、一致団結して目指すべき成果を達成出来れ



ばいいのですが、そうは簡単にいかなく、社員の持っている個々の力を十分に引き出すことが出来れば、私の局長としての仕事も完成ですが中々うまくいきません。また最近年を取ってきた証拠なのか「今の若い人たちは」とか、「自分の時はこうじゃなかった。なんで言う事を聞かずにやってしまうんだろう。」とつい思ってしまうことがあります。でもこれは、私が若いときに同じように思われていた事だということも自覚しています。世代が違えば考え方が違うのも当たり前です。

2：6：2の法則というのがあるそうです。職場の2割は黙々となんでもする優秀社員、もう一方の2割は、出来れば仕事は必要最低限に済ませたいと思っている社員。いわば、さぼりたい人たち。後の6割はどっちにもなりうる社員。この6割をどう取り込むかで仕事はかなり順調に進むそうです。過去、何度かの転勤で色々な職場を経験し、本当にそうだなと思います。6割の社員を取り込んで8割の社員がまとまればうまくいく確率も高まり、自然と業績は向上します。でも残された2割を切り捨てることも出来ません。ほっておく方が楽かもしれませんが、自分にはそんな強い気持ちはないので、何とかしたくなります。

そこでかなり昔の人の名言になりますが、山本五十六という人が言っていた言葉を少し紹介させていただきます。この山本五十六、実は大日本帝国海軍の軍人さんです。軍人さんの言葉をこの場所で紹介するのはふさわしくないかもしれませんが、人を育てるにあたり、大切にいつの時代にも通じることだと思い、私の人材育成の基本となっていることです。

やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。
話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。
やっている、姿を感謝で見守って信頼せねば、人は実らず。

自分的に解釈すると、ただ仕事をやれやれ

言ってもする訳がなく、自分が手本となり、なぜそのことが必要なのか理解させ、本人に取り組ませる。その取り組み姿勢をまずは褒めることにより、相手を認め、方向性が間違っていればタイミングよくアドバイスをする。あとは部下社員を信じる忍耐力が必要ということでしょうか。

この言葉は私の大先輩の局長から教えていただきました。部下社員を育てるうえでの必要なことが全て網羅されているような気がします。職場の長として人を育てるという事が私の目標でもあるので、先日の新春夜間例会で色紙に書いた「輪」を大切にしこれからも人材育成に努めたいと思います。

また山本 五十六はこうも言っています。

苦しいこともあるだろう
言いたいこともあるだろう
不満なこともあるだろう
腹の立つこともあるだろう
泣きたいこともあるだろう
これらをじっとこらえてゆくの男の修行である

今日はこの場に女性会員もいるので、最後の行はふさわしい言葉ではないかもしれませんが。なにせ山本五十六が生きていた時代は、女性の社長や管理職のいない時代なので、男の修行と言ったのかもしれませんが。この言葉は会社経営者や職場管理者の「孤独」に向けられた言葉で、何とも言えない思いが込められており、自分的には妙に納得しています。

(次週に続く)